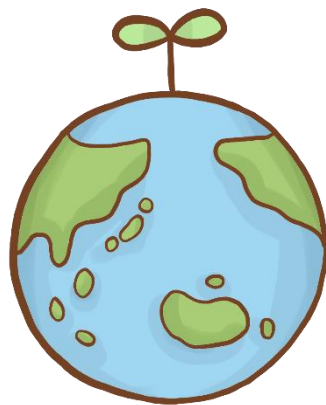




令和7年度

# 大仙市SDGsレポーター 活動報告書



令和8年3月

SDGs未来都市

大仙市



# 目次

## 1 大仙市SDGsレポーター事業

(1) 目的	1
(2) SDGsレポーター	1
(3) 活動実績	2

## 2 主な活動内容

(1) 自己調査・学習	3
(2) SDGsに関する勉強会	3
(3) 企業への訪問学習	4
(4) 調査・学習成果のまとめ、発信	5
① 市広報やホームページでの発信	
② 中学生サミットでの発表（大雨により中止）	
③ FMはなびでの発信	
④ 活動レポートの作成	

## 3 活動レポート

(1) 大仙市立大曲中学校	2年	小西 希良 さん	7
(2) 大仙市立大曲中学校	3年	戸澤 理子 さん	8
(3) 大仙市立大曲南中学校	2年	最上 和香 さん	10
(4) 大仙市立大曲南中学校	2年	田中 彩菜 さん	12
(5) 大仙市立大曲南中学校	3年	木村 煌峨 さん	13

## 4 参考資料

(1) 広報掲載記事	15
(2) 「中学生サミット」発表資料	17

# 1 大仙市SDGsレポーター事業

## (1) 目的

未来を担う若い世代にSDGsへの理解を深めていただくことにより、地域の課題解決や活性化に向けて主体的に考え、行動することができる、持続可能な社会の形成に寄与する人材を育成するとともに、その成果を広く市民の皆さんに発信することで、SDGsの達成に向けた市全体の機運を高め、未来に向けて持続発展するまちづくりをより一層推進していくことを目的とします。

## (2) SDGsレポーター

### ① 対象者

市内在住、または市内の学校に通学する中学生

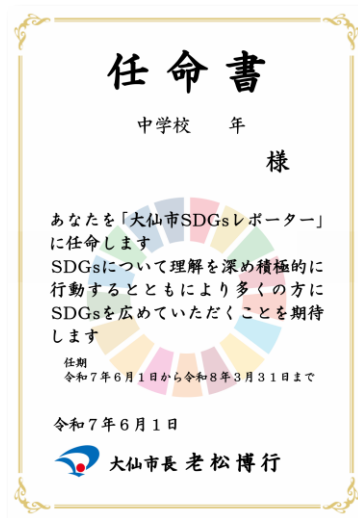
### ② 募集期間

令和7年5月1日～20日

### ③ 任命

次の5名をSDGsレポーターに任命しました。

- ・大仙市立大曲中学校 2年 小西 希良 さん
- ・大仙市立大曲中学校 3年 戸澤 理子 さん
- ・大仙市立大曲南中学校 2年 最上 和香 さん
- ・大仙市立大曲南中学校 2年 田中 彩菜 さん
- ・大仙市立大曲南中学校 3年 木村 煌峨 さん



### (3) 活動実績

月	日	活 動 内 容
6月	12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・任命書授与</li> <li>・オリエンテーションの実施（今後の活動内容や流れなどを説明）</li> <li>・勉強会の開催（外部講師：SDGs全般について説明）</li> <li>・自己調査・学習の開始（調査・学習シートを活用しながら実施）</li> </ul>
	中旬	市ホームページによる情報発信の開始
7月	1日	広報7月号での情報発信
	3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表テーマの選定</li> <li>・発表テーマに関する調査・学習の開始（発表資料準備シートを活用しながら実施）</li> </ul>
	17日	発表資料作成①
	24日	発表資料作成②
	30日	企業への訪問学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治安田生命保険相互会社 大曲営業所</li> <li>・株式会社タニタ秋田</li> </ul>
8月	1日	広報8月号での情報発信
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表資料作成③（完成）</li> <li>・発表練習</li> </ul>
	7日	「大仙市中学生サミット」での発表 ※大雨により中止
	19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「FMはなび」の収録 放送日：8月20日、22日、25日の3日間 いずれも1日3回放送</li> <li>・活動レポートの作成</li> </ul>
	22日	東北SDGs未来都市サミットでの取組紹介
10月	1日	広報10月号での情報発信
3月	下旬	大仙市SDGsレポーター活動報告書の公表

## 2 主な活動内容

### (1) 自己調査・学習

SDGsの現状や問題となっていること、目標の達成に向けた取組などについて、「調査・学習シート」などをもとに、各自調査・学習を行いました。

#### 【調査・学習シート内容】

1. SDGsについて
  - (1) SDGsとは
  - (2) SDGsの現状や問題となっていること
  - (3) 調査した内容で「新たに気づいたこと」「特に興味・関心を持ったこと」「感じたこと・考えたこと」など
2. SDGsの目標（ゴール）について
  - (1) 興味・関心のある目標
  - (2) (1)の目標を選んだ理由
  - (3) 現状や問題となっていること
  - (4) 調査した内容で「新たに気づいたこと」「特に興味・関心を持ったこと」「感じたこと・考えたこと」など
  - (5) 目標達成に向けた取組
    - ①日常生活でできる取組
      - インターネット等で調べたもの
      - 調べた取組以外のもの（自身の日常生活でできることなど）
    - ②新たな取組の提案

### (2) SDGsに関する勉強会

SDGsへの理解を深めるため、外部講師をお招きして勉強会を開催し、SDGsの現状や課題などについて説明していただきました。レポーターの5人は、任命後初めての活動となりましたが、講師のお話真剣に耳を傾け、メモを取るなど、SDGsについてさらに理解を深めようとする積極的な姿勢が見られました。

【実施日】6月12日（木）

【講師】あいおいニッセイ同和損害保険株式会社  
横手オフィス 社員



### (3) 企業への訪問学習

企業がSDGsに取り組む意義や実際の取組を学ぶため、秋田県SDGsパートナーである「明治安田生命保険相互会社 大曲営業所 様」と、大仙市SDGs取組宣言企業でもある「株式会社タニタ秋田 様」にご協力いただき、訪問学習を行いました。

レポーターの5人は、質問しながら担当の方の説明を熱心に聴いていました。SDGsの達成に向けた企業の役割や取組について理解を深めるとともに、地域から世界に貢献する地元企業の魅力に触れ、自身の将来についても考える貴重な機会となりました。

【訪問日】7月30日（水）

【訪問先】

#### ①明治安田生命保険相互会社 大曲営業所



#### ②株式会社タニタ秋田



---

## (4) 調査・学習成果のまとめ、発信

### ① 市広報やホームページでの発信

SDGs レポーターの活動状況や調査・学習成果などについて、市広報やホームページで情報発信を行いました。

#### 【広報】

7, 8, 10月号に掲載し、情報発信を行いました。

▶ 広報掲載記事は15～16ページ



#### 【ホームページ】

市ホームページに専用ページを設け、情報発信を行いました。

▶ 【URL】 <https://www.city.daisen.lg.jp/archive/p20250616104840>

### ② 中学生サミットでの発表

※大雨により中止

レポーター活動のまとめとして、それぞれ調査・学習を進めてきた興味や関心のある目標を持ち寄り、共通の調査テーマに設定した「食とSDGs」について現状や課題を調査し、課題解決のためのアイデアをレポートにまとめました。レポートは、8月7日に開催する予定であった中学生サミットにおいて、レポーター活動の紹介とともに発表を行うこととしていましたが、大雨の影響により中止となってしまいました。

発表資料と原稿を「4 参考資料」に掲載していますので、ご覧ください。

▶ 発表資料は17～21ページ

---

### ③ FMIはなびでの発信

---

レポーターがFMIはなびの行政情報番組に出演し、これまでの活動を通じて感じたことや気持ちの変化、市民の皆さんに伝えたいことなどを発信しました。

初めてのラジオ出演となるレポーターも多く、緊張した様子でしたが、収録では自分の思いや考えを自分の言葉でしっかりと話していました。

放送内容は、市ホームページからお聴きいただけます。

【収録日】8月19日（火）

【放送日】8月20日、22日、25日の3日間 ※いずれも1日3回放送



### ④ 活動レポートの作成

---

これまで取り組んできた活動全体を振り返り、活動を通じて感じたことや考えたこと、市民の皆さんに伝えたいことなどをレポートとしてまとめました。

▶ 活動レポートは7～14ページ

### 3 活動レポート

#### (1) 大仙市立大曲中学校 2年 小西 希良 さん

##### ① SDGsレポーターに応募したきっかけ、動機

私がSDGsレポーターに応募したきっかけは、SDGsに興味があり、SDGsをみんなに広めたいと思ったからです。



##### ② SDGsの達成に向け、「現在行っている取組」と「これから行おうと考えている取組」

節電・節水を徹底し、ごみの発生を抑制するためマイバッグ・マイボトルを持参するなど、環境に配慮した行動を心がけています。今後は、食品ロスの削減を意識した生活や寄付・ボランティア活動にも協力して取り組んでいきたいです。

##### ③ 調査・学習などを通じて「新たに気づいたこと」「特に興味・関心を持ったこと」「感じたこと・考えたこと」など

地球温暖化の進行や海が汚れていると魚が獲れなくなるなど、自分たちにも影響があるので、SDGsの目標のうち、「目標14 海の豊かさを守ろう」について特に関心を持ち、調査・学習を行いました。海は二酸化炭素を吸収して、酸素をつくっていることを初めて知り、二酸化炭素の増加は海の酸性化や生態系などにも影響を及ぼすことがわかりました。海洋プラスチックごみも大きな問題となっており、2050年には海の魚の量を上回る見込みと言われているため、自分たちにとって海は大切なものだ改めて気づきました。

---

## (2) 大仙市立大曲中学校 3年 戸澤 理子 さん

### ① SDGs レポーターに応募したきっかけ、動機

以前、SDGsに関する本を読んだときに、世界の現状に衝撃を受け、私たちができることや、その取組について詳しく知りたいと思いました。学校で配布されたSDGsレポーターのチラシを見たときに「やってみたい」と思い、また、レポーターの活動を通じて、人の役に立つことができたらいいなと思ったので応募しました。



### ② SDGsの達成に向け、「現在行っている取組」と「これから行おうと考えている取組」

私が現在行っている取組は、家での節電です。例えば冷房をつけるときは低すぎる温度にならないよう温度設定に注意しています。そうすることで、CO<sub>2</sub>の排出を抑えられるので、環境への影響、負担を減らすことができていると感じます。また、クーラー病（冷房病）や室内の乾燥を防ぐことができ、身体面でもいい影響があります。小さな取組でも、積み重なればゴールにつながると感じたので、これからも続けていきたいです。

### ③ 調査・学習などを通じて「新たに気づいたこと」「特に興味・関心を持ったこと」「感じたこと・考えたこと」など

この調査を通じて新たにわかったことは、様々な企業がたくさんの人と協力してSDGsの達成に向けていろいろな取組をしていることです。例えば、明治安田生命保険相互会社大曲営業所さんでは、地域の小学校にボックスティッシュを寄付したり、社員が使用するクリアファイルをプラスチック製から紙製のものに変えたりしていました。この取組のお陰でプラスチックの量を大幅に減らすことに成功したそうです。また、フードバンクへ食料の寄付を行うことで、災害時の備蓄用食料として役立っているそうです。

株式会社タニタ秋田さんでは、健康と環境に配慮した取組を行っていました。健康面では体重計や活動量計の生産・販売、環境面では工場と会社の電気すべてに太陽光発電などの再生可能なエネルギーを使っていました。今回訪問した2社以外の企業では、どのような取組を行っているのか興味を持ったので、これから調べたいです。

---

#### ④ これまでの活動全般を通じて、感じたことや気持ちの変化など

---

今回は大雨により、中学生サミットは中止になってしまいましたが、他のレポーターと協力して準備や練習をし、ラジオ放送などの活動をしたことで、以前よりもSDGsが身近なものに感じられました。また、これらの活動を通じて、SDGsへの関心がさらに高まったと感じます。今までは、他人事のように考えてきたSDGsですが、実際にレポーターとして活動したことで、生活の中でSDGsを意識できるようになりました。これからは、今よりもエコな生活を目指したいです。

#### ⑤ 市民の皆さんに伝えたいこと

---

何気ない日常の中でも、SDGsの達成のためにできることはたくさんあり、自分から積極的に行動していくことが大切だと思います。例えば、私も行っているように冷房の温度設定を工夫してみたり、ごみを分別して捨てたりすることです。このような少しの行動でも、継続していけば成果を生むことができると思うので、少しずつできることを見つけて積極的に行動し、SDGsの達成を目指しましょう。

---

### (3) 大仙市立大曲南中学校 2年 最上 和香 さん

#### ① SDG s レポーターに応募したきっかけ、動機

昨年度もSDG s レポーターとして活動し、勉強会や企業訪問、調査・学習などを通じてSDG s について多くのことを学び、発見することができ、よりSDG s への興味や関心を持ちました。「誰一人取り残されない」持続可能な社会の実現のため、さらにSDG s について学び、視野を広げ、自分の言葉でSDG s の大切さを伝えることができればと思い、今年度も応募しました。



#### ② SDG s の達成に向け、「現在行っている取組」と「これから行おうと考えている取組」

コンタクトレンズや空き缶、古紙などのリサイクルに積極的に協力しています。また、地域の特性を生かしたローカルSDG s の取組に興味を持ち、大仙市が積極的に取組を進めている健幸まちづくりプロジェクトを通じて、健康を意識した生活を心がけていますが、このほかにも実践できるものは積極的に取り組んでいきたいです。あとは、二酸化炭素の吸収量が多く、栄養価の高いモリンガを育ててみたいと思っています。

#### ③ 調査・学習などを通じて「新たに気づいたこと」「特に興味・関心を持ったこと」「感じたこと・考えたこと」など

「目標2 飢餓をゼロに」は、日本のSDG s の達成状況で深刻な課題がある項目に位置付けられています。栄養不足となっている子どもがいる一方で、年間約500万トンの食品ロスが発生しており、食べられるのに多くの食品が捨てられ、必要な人に届かないということが起きています。令和の米騒動では深刻な米不足と価格高騰が起きましたが、国内農業は高齢化や後継者不足といった問題があるほか、異常気象や災害の頻発化により農作物の安定供給に影響を及ぼしています。食料自給率が低下傾向にあり、輸入依存の高い日本では、国際的な食料価格の変動にも影響を受けやすい状況にあります。

このように、「目標2 飢餓をゼロに」は発展途上国だけの問題だけでなく、私たちが住んでいる日本でも深刻な課題があるのかと思うと不安になりました。

---

#### ④ これまでの活動全般を通じて、感じたことや気持ちの変化など

---

企業で行っているSDGsの取組について説明していただき、環境に配慮した取組や社員の方が働きやすい環境づくりなど様々な取組を行っており、企業の取組を知る貴重な経験となりました。

#### ⑤ 市民の皆さんに伝えたいこと

---

SDGsについて、私自身まだまだ知らないことが多いですが、私たちレポーターが学んだことを市民の皆さんに少しずつでも伝えていけたらと思っています。市民の皆さんにもSDGsについて興味を持ってもらえたらうれしいです。

---

## (4) 大仙市立大曲南中学校 2年 田中 彩菜 さん

### ① SDG s レポーターに応募したきっかけ、動機

---

私の通っている大曲南中学校ではSDG s に力を入れており、SDG s について学んでいくうちに、もっと深く知りたいと思うようになったからです。



### ② SDG s の達成に向け、「現在行っている取組」と「これから行おうと考えている取組」

---

プラスチックごみやペットボトルのリサイクル、エコバッグの持参、アルミ缶の回収など、ごみの分別や発生の抑制に心がけています。今後も時代にあった資源の再利用方法や、できるだけ二酸化炭素を排出しない方法などを調べ、考えながら、環境に配慮して行動していきたいです。

### ③ 調査・学習などを通じて「新たに気づいたこと」「特に興味・関心を持ったこと」「感じたこと・考えたこと」など

---

新型コロナウイルスの感染拡大などにより、SDG s の達成度は全体的に低迷していて、日本でもまだ達成できていないものが多いことに驚きました。新型コロナウイルスにより、それまで作り上げてきたものが崩されてしまっているのが印象的です。SDG s について知らないことが多くありましたが、調査・学習などを通じて深く知ることができ、普段生活しているときに、SDG s の視点で物事をみることができるようになったと感じています。

### ④ これまでの活動全般を通じて、感じたことや気持ちの変化など

---

SDG s や気候変動、地球温暖化は意外と身近なものだと感じました。また、私たちがやるべきこともたくさんあると思いました。

### ⑤ 市民の皆さんに伝えたいこと

---

もっと、地球温暖化やSDG s を身近に感じてほしいです。SDG s の言葉しか知らない人が身近にもたくさんいるので、意識が少しでも変わるようにSDG s を広めていくことは私たち一人ひとりができることだと思います。市民の皆さんもできることから少しずつSDG s の取組をやってほしいです。

---

## (5) 大仙市立大曲南中学校 3年 木村 煌峨 さん

### ① SDG s レポーターに応募したきっかけ、動機

---

以前からSDG sに興味があり、SDG sの達成のために少しでも貢献したいと考えたからです。このレポーターの活動を通じてSDG sに関する活動ができると思うとおもしろそうだと感じました。自分たちが住んでいる大仙市をクリーンなまちにして活性化させるため、また、この地球を守り、温暖化を抑制するための案を出していきたいと思いました。



### ② SDG sの達成に向け、「現在行っている取組」と「これから行おうと考えている取組」

---

節電・省エネのため、日中は照明を控え、エアコンを使うときはサーキュレーターと一緒に使い、服装での温度調整を行っています。また、食品ロスの削減や、ごみの分別、マイボトルの持参、コンタクトレンズのリサイクルなど、プラスチックごみの削減に取り組んでいます。今後は、ペーパーレス化にも取り組み、ごみの分別も今まで以上に徹底し、環境負荷の少ない行動を心がけていきたいです。

### ③ 調査・学習などを通じて「新たに気づいたこと」「特に興味・関心を持ったこと」「感じたこと・考えたこと」など

---

大仙市はSDG sが進んでいると思いました。企業訪問で伺った株式会社タニタ秋田さんでは、すべての電気を再生可能エネルギーでまかなっているなど、環境に配慮した取組が行われていました。2030年まで残り5年を切っているのも、もっと環境にやさしいクリーンなまちになってほしいです。

また、車、バイクなどの車両は、燃費が良くなっていても、環境に悪い物質は排出されているので、完全な電気車両がどんどん評価されていくと思います。しかし、電気車両には加速不足やバッテリー寿命などのデメリットがあり、ガソリン車にはガソリン車の良さがあるので、今後のガソリン車や電気車両はどうなっていくのか疑問に思いました。

---

#### ④ これまでの活動全般を通じて、感じたことや気持ちの変化など

---

いろいろな会社でSDGsの達成に向けた取組をしていますが、目標年である2030年まであと5年しかないので、急いで達成に向けて行動していかなければいけないと思いました。このように自分たちがSDGsの活動を呼びかけられるのは、とてもうれしく、これからはより一層環境に配慮した行動をしていきたいと思っているので、市民の皆さんも行動に移してほしいです。秋田県、大仙市では、これまでSDGsはあまり進んでいないのではと思っていましたが、企業訪問などを通じて、目標達成に向けた取組が進められているので少し安心しました。よりエコなまちになり、目標達成に近づいてほしいと思います。

#### ⑤ 市民の皆さんに伝えたいこと

---

SDGsの目標期限である2030年まで残り5年を切っており、私たち一人ひとりができることから行動していくことが重要です。買い物でのマイバッグの持参、新聞紙、食品トレイ、牛乳パックのリサイクルやごみ分別の徹底、こまめな節水、サーキュレーターの使用や環境に優しいエコ家電への買い替えなど、身近でできることはたくさんあるので、環境負荷のかからない行動を心がけてほしいです。

## 4 参考資料

### (1) 広報掲載記事

7月号

#### 「今」と「未来」のために、今私たちができること -SDGsレポーターの活動を紹介-



「誰一人取り残されない」持続可能な社会の実現に向けた世界共通の目標「SDGs」。「今」も「未来」も幸せに暮らし続けるために、今を生きる私たちは何ができるのか。一人一人が「**自分のこと**。」として考え、身近なことから行動していくことが大切です。

#### 大仙市SDGsレポーター

SDGsの達成に向け、未来を担う若い世代を対象とした「SDGsレポーター」による、今年度の活動がスタートしました。

この取り組みは、未来のために積極的に行動しようとする中学生の皆さんを「SDGsレポーター」に任命し、調査・学習などを通じてSDGsへの理解を深めていただき、中学生の目線から、学んだ成果を広く市民の皆さんに発信していただくものです。レポーター活動を通じて、SDGsの達成に向けた市全体の機運を高めるとともに、地域の課題解決や活性化に向けて主体的に考え、行動することができる人材の育成につなげていきます。

6月12日、任命後初めての活動となった勉強会では、市と包括連携協定を締結しているあいおいニッセイ同和損害保険株式会社から講師をお招きし、SDGsの現状や課題などについて説明していただきました。レポーターの5人は、講師のお話真剣に耳を傾け、メモを取るなど、SDGsについてさらに理解を深めようとする積極的な姿勢が見られました。

今後、レポーターの皆さんには、SDGsに取り組んでいる企業への訪問やFMはなびを通じた発信など、さまざまな活動を展開していただく予定です。活動の様子は、だいせん日和や市のホームページなどで随時紹介していきます。



(左から)小西希良さん(大曲中2年)、田中彩葉さん(大曲南中2年)、最上和香さん(同)、戸澤理子さん(大曲中3年)、木村煌峨さん(大曲南中3年)



昨年度のレポーターの活動内容も市のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

8月号

#### 「今」と「未来」のために、今私たちができること -SDGsレポーターの取り組みを紹介-



「誰一人取り残されない」持続可能な社会の実現に向けた世界共通の目標「SDGs」。「今」も「未来」も幸せに暮らし続けるために、今を生きる私たちは何ができるのか。一人一人が「**自分のこと**。」として考え、身近なことから行動していくことが大切です。

節電・節水を徹底し、ごみの発生を抑制するためマイバッグ・マイボトルを持参するなど、環境に配慮した行動を心掛けています。今後は、食品ロスの削減を意識した生活や寄付・ボランティア活動にも協力して取り組んでいきたいです。小西希良さん(大曲中2年)



プラスチック・アルミ缶などのリサイクルやエコバッグの持参など、ごみの分別や発生の抑制に心掛けています。今後も環境に配慮して行動していくため、できるだけ二酸化炭素を排出しない方法を調べ、考えながら生活していきたいです。田中彩葉さん(大曲南中2年)



ごみ拾いなどの街の美化活動や募金活動などに取り組んでおり、SDGsに関する世界の現状などを調べ、何ができるかを考えながら行動に移しています。今後は、節電・節水など、身近でできる基本的な取り組みを徹底して行っていきたいです。戸澤理子さん(大曲中3年)



エコバッグの持参やペットボトルなどのリサイクル、節電・節水など、日常生活でできることから積極的に行動しています。今後は、ペーパーレス化にも取り組み、ごみの分別も今まで以上に徹底し、環境負荷の少ない行動を心掛けていきたいです。木村煌峨さん(大曲南中3年)



地域の特性を生かしたローカルSDGsの取り組みに興味を持ち、市が積極的に進めている健康まちづくりプロジェクトを通じて、健康を意識した生活を心掛けています。今後は、二酸化炭素の吸収量が多いモリンガを育ててみたいと思っています。最上和香さん(大曲南中2年)



今と未来のために、できることから行動しよう！



SDGsレポーターの活動は市のホームページでも紹介していますので、ぜひご覧ください。

「今」と「未来」のために、今私たちができること - SDGsレポーターの活動を紹介 -



「誰一人取り残されない」持続可能な社会の実現に向けた世界共通の目標「SDGs」。「今」も「未来」も幸せに暮らし続けるために、今を生きる私たちは何ができるのか。一人一人が「**自分のこと**。」として考え、身近なことから行動していくことが大切です。

 SDGsに取り組んでいる企業への訪問

企業がSDGsに取り組む意義や実際の取り組みを学ぶため、秋田県SDGsパートナーの明治安田生命保険相互会社大曲営業所と、大仙市SDGs取組宣言企業でもある株式会社タニタ秋田に協力いただき、訪問学習を行いました。

レポーターの皆さんは、質問しながら担当の方の説明を熱心に聞いていました。SDGsの達成に向けた企業の役割や取り組みについて理解を深めるとともに、地域から世界に貢献する地元企業の魅力に触れ、自身の将来についても考える貴重な機会となりました。



(左から)明治安田生命保険相互会社大曲営業所、株式会社タニタ秋田

 「FMはなび」での発信

FMはなびの行政情報番組に出演し、これまでの活動を通じて感じたことや気持ちの変化、市民の皆さんに伝えたいことなどを発信しました。初めてのラジオ出演で緊張した様子でしたが、自分の思いや考えを自分の言葉でしっかりと話しました。



FMはなびでの番組収録に臨んだレポーター。放送内容は、2次元コードから聴くことができます。

## (2)「中学生サミット」発表資料

「中学生サミット」で発表する予定であった資料と原稿を掲載しています。

1



2



3



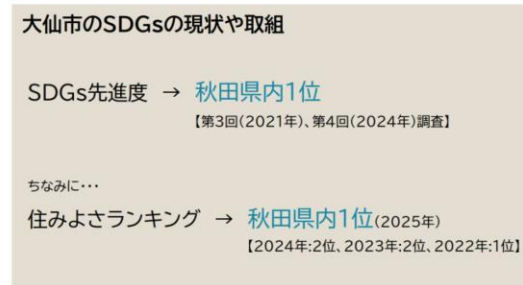
4



5



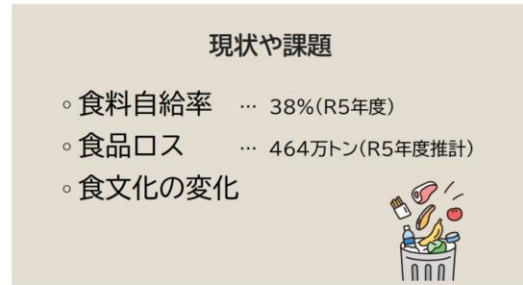
6



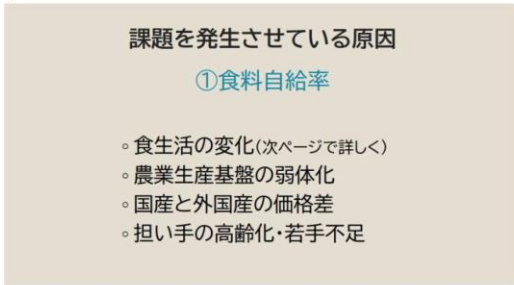
7



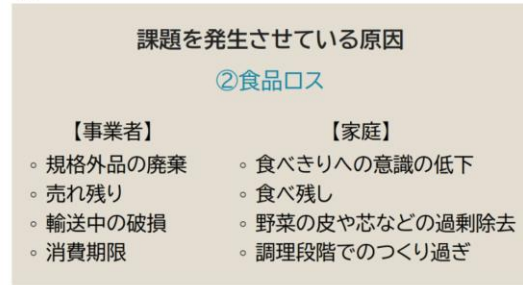
8



9



10



11

課題を発生させている原因

③食文化の変化

- 食材費が高い
- 作るのに手間がかかる
- 和食に触れる機会の減少
- 欧米化
- ライフスタイルの変化

12

大仙市の取組

食ベきり協力店登録制度

食品ロスなくそう!! 67店舗登録

食ベきり協力店

フードシェアリングサービス「だいせんタバスケ」


9月1日から利用開始

フードバンク(大仙市社会福祉協議会)

13

課題を解決するためのアイデア

- てまえどり
- 地産地消の推進
  - ・ 学校給食に地元のものを導入
  - ・ 道の駅、直売所を利用して地域経済の活性化
- 食品ロス削減ボックスの導入
- 手作りする
- 農業の担い手の育成
- 伝統料理を作るイベントを開催(きりたんぼ作りなど)
- フードバンクへの支援
- SDGsに取り組んでいる企業の商品を買う
- 賞味期限または消費期限が間近の商品を格安で売る etc...



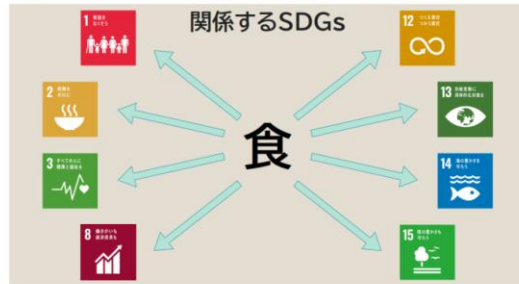
14

課題解決のため、一人一人ができること

- 冷蔵庫の整理
- レシピの見直し
- 食品の表示を確認
- 必要な量だけを買う
- 食べ切れる量を作る
- 食材を使い切る
- 地産地消を心がける etc...



15



16

「だれ一人取り残されない」持続可能な社会の実現には  
私たち一人ひとりが「自分のこと」として考え、  
みんなで協力して行動していくことが重要です

たとえ小さな一歩でも、社会を、そして未来を変える  
大きな一歩につながります

「今」と「未来」のために  
今を生きる私たちは何ができるのかを考え、行動しよう!



発表資料作成の様子

---

## 【発表内容】

### 1

これから SDGs レポーターの発表を始めます。

まず自己紹介ですが、大曲中学校3年の戸澤理子と2年の小西希良です。そして、大曲南中学校3年の木村煌峨と2年の田中彩菜、同じく2年の最上和香です。よろしくお願いします。

はじめに、SDGs レポーターについてですが、これは、大仙市が昨年度から実施している取組で、未来を担う若い世代である中学生を「SDGs レポーター」に任命し、調査・学習などを通じてSDGs への理解を深め、中学生の目線から、学んだ成果などを広く市民の皆さんに発信し、SDGs の達成に向けた市全体の機運を高めることを目的として活動を行っています。

### 2

次に、その SDGs レポーターの取組を紹介します。

まずは、レポーター任命後、初めての取組として、SDGs について理解を深めるため、勉強会を行いました。講師に「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 横手オフィス」の方をお招きし、SDGs に関する現状や課題などについて説明していただきました。

次に、SDGs に取り組んでいる企業を訪問しました。

「明治安田生命保険相互会社 大曲営業所」と「株式会社タニタ秋田」を訪問し、それぞれの企業で行っている SDGs の取組について説明していただきました。環境に配慮した取組や社員の方が働きやすい環境づくりなど、様々な取組を行っており、企業の取組を知ることができた、大変貴重な経験となりました。

### 3

そのほかに、ホームページや広報での情報発信も行っており、今後、「FMはなび」でのラジオ放送による発信も行い、引き続き情報発信などに取り組んでいく予定としています。

### 4

次に、大仙市の SDGs の現状や取組について紹介します。

大仙市は、令和4年度に国の「SDGs 未来都市」に選定されています。SDGs 未来都市は簡単に言うと、SDGs の達成に向けて優れた取組を行っている自治体のことです。「SDGs 未来都市」選定後に策定した「SDGs 未来都市計画」では、「2030 年のあるべき姿」として、「Well-being にあふれ 未来に向けて持続発展する 田園交流都市だいせん」を掲げています。

この Well-being という言葉は、簡単に言うと「幸福」という意味ですが、身体的、精神的、社会的にすべてが満たされた状態で、継続した幸福を意味しています。つまり、今だけでなく、将来も幸福を感じられるような、そうした Well-being にあふれる、未来に向けて持続発展するまちを目指しています。

SDGs 未来都市への選定をきっかけに、経済・社会・環境の3側面の取組により、相乗効果を発揮しながら、持続可能なまちづくりを推進しています。力を入れている取組としては、若者の活躍・定住に向けた「若者チャレンジ応援プロジェクト」や、市民の皆さんの健幸づくりを推進する「健幸まちづくりプロジェクト」など様々な取組を行っています。

---

## 5

こうした取組のほか、SDGs の達成には、一人ひとりが「自分のこと」として考え、行動することが重要です。市全体の機運を高め、具体的な行動につなげていくため、情報発信や普及啓発にも力を入れています。SDGs 図書コーナーの設置や、ポスター、「SDGs 未来都市シンポジウム」の開催など、様々な取組を行っています。

また、令和5年度から実施している「SDGs 取組宣言プロジェクト」は、SDGs に関する取組の「見える化」を図るため、市民や企業・団体などの皆さんの取組を募集していますので、ぜひ中学生サミットの皆さんも宣言していただければと思います。

---

## 6

こうした様々な取組を行ってきたことなどもあり、大仙市は直近2回の SDGs 先進度調査において、秋田県内で1位の評価となっています。ちなみに、毎年実施されている住みよさランキングでも、常に全国編では県内トップを争う位置にあり、大仙市は、各調査において高い評価となっています。

---

## 7

次に、私たちレポーターは、一つのテーマを決め、課題や現状などを調べ、課題解決に向けてのアイデアなどを考えました。今日はその内容についてもお話ししたいと思います。

私たちが選んだテーマは「食と SDGs」です。

このテーマに選定した理由は、最近、米不足や米などの物価上昇に関するニュースをよく目にし、食は私たちが生きていく上で欠かすことのできないものであるため、普段あたり前に食べているものが将来難しくなってしまうのではないかなど、食に関する課題や現状に興味を持ったからです。

---

## 8

日本の食の現状や課題としては、食料自給率の低下や、食品ロス、食文化の変化などがあげられます。

食料自給率については、日本の令和5年度の数値は38%となっており、先進国の中でもかなり低い数値で、食料の多くを海外からの輸入品に頼っている状況です。

食品ロスについては、日本の令和5年推計値は464万トンとなっており、これは、国民一人当たり換算すると、おにぎり約1個分を毎日捨てられている現状となっています。

食文化の変化については、伝統的な食文化の継承が途絶えてしまうと、地域の個性が失われてしまうほか、食料自給率や食品ロスなどにも影響を及ぼします。

---

## 9

こうした課題を発生させている原因として、食料自給率の低下については、食生活の変化、農業生産基盤の弱体化、国産と外国産の価格差、担い手の高齢化・若手不足など、様々な要因があります。

---

## 10

二つ目の食品ロスについては、大きく分けて事業者と家庭にあります。事業者では、規格外品の廃棄、売れ残り、輸送中の破損、消費期限などがあげられます。家庭では、食べ残しや野菜の皮や芯などの過剰除去、調理段階での作り過ぎなどがあげられます。

---

## 11

三つ目の食文化の変化については、食材費が高いこと、作るのに手間がかかること、和食に触れる機会の減少、欧米化、ライフスタイルの変化などがあります。

---

## 12

こうした食、主に食品ロスに関する大仙市の取組として、1つ目に「食べきり協力店登録制度」があります。

この取組は、市と協同で取り組む飲食店等を「食べきり協力店」として登録し、協力店において食品ロス削減に向けた取組を実践し、その取組を広く紹介することで、食品ロス削減につなげていくものです。現在 67 の店舗が登録されています。

次に、フードシェアリングサービス「だいせんタベスケ」です。

この取組は、来月の9月1日にスタートする取組で、賞味期限などの理由から早めに売り切りたいと考えている飲食店などの販売店と、その商品をお得な価格で購入したい消費者をマッチングすることで、食品ロスの削減につなげていくものです。利用には、専用アプリまたはウェブサイトでの事前登録が必要とのことですので、家族の皆さんにも周知していただければと思います。

また、大仙市社会福祉協議会ではフードバンクの取組を行っており、企業訪問として伺った明治安田生命保険相互会社でもフードドライブの取組を行っているとのことでした。

今後も、こうした様々な取組が地域全体に広がり、みんなで食品ロス削減に向けて取り組んでいければと思います。

---

## 13

次に、課題を解決するためのアイデアです。

手前取り、地産地消の推進、食品ロス削減ボックスの導入、手作りする、農業の担い手の育成、伝統料理を作るイベントを開催するなどです。

---

## 14

このほかにも、課題解決のため、一人ひとりができることとして、「冷蔵庫の整理、レシピの見直し、食品の表示を確認、必要な量だけを買う、食べ切れる量を作る、食材を使い切る、地産地消を心がける」などがあります。

課題解決のためには、一度切りの取組で終わってしまうのではなく、持続可能な取組を継続して行っていくことが重要ですので、こうした一人ひとりができることに、みんなが意識して取り組んでいくことが大切だと思います。

---

## 15

今回発表した一例だけでも、食に関する課題の解決に向けた取組は、環境や福祉、地域経済の活性化など、様々なゴールにつながっていることがわかります。こうした広い視野を持つことは、これから様々な取組を行う上で重要だと感じました。

---

## 16

「誰一人取り残されない」持続可能な社会の実現には、私たち一人ひとりが「自分のこと」として考え、みんなで協力して行動していくことが重要です。たとえ小さな一歩でも、社会を、そして未来を変える大きな一歩につながります。「今」と「未来」のために、今を生きる私たちは何ができるのか考え、行動していきましょう。

以上で私たちの発表を終わります。ありがとうございました。



「誰一人取り残されない」持続可能な社会の実現には  
私たち一人ひとりが「自分のこと」として考え  
みんなで協力して行動していくことが重要です  
たとえ小さな一歩でも、社会を、そして未来を変える  
大きな一歩につながります

「今」と「未来」のために  
今を生きる私たちは何ができるのか  
今日から考え、行動していこう！



令和7年度 大仙市SDGsレポーター活動報告書

令和8年3月発行

【編集・発行】

大仙市企画部総合政策課

〒014-8601 秋田県大仙市大曲花園町1番1号

TEL:0187-63-1111 (代表)



大仙市  
ホームページ